

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護援助論 I		必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堀口 まり子	410	mariko.horiguchi	授業終了後・水曜日 16:00～18:00		
授業の目的・概要	疾患や外傷などによる急激な健康破綻によって医学的治療を受け健康回復を図る必要がある対象者に対して、疾患や病態生理の理解を基に、手術や治療による身体の変化や患者・家族の心理状態を理解し、健康課題を特定し、それに応じた生命維持や心理社会的な基本的看護援助、および急性期を脱してからの心身の早期回復と回復促進に向けた基本的看護援助を学修する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	成人看護学概論で学修した知識と1年次および2年次の疾病治療論等の基礎知識が前提となるので、自己学習を自主的に行うこと。疑問点は、授業中やリアクションペーパーでの質疑応答で解決できるようにすること。				
教科書	①経過別成人看護学② 周術期看護 /編:明石恵子、篤田理桂 /メデカルフレンド社 /2021 ②専門分野(2)成人看護学<2> 第15版 呼吸器(系統看護学講座)/医学書院 ③専門分野(2)成人看護学<3> 第15版 循環器(系統看護学講座)/医学書院 ④専門分野(2)成人看護学<5> 第15版 消化器(系統看護学講座)/医学書院 ⑤専門分野(2)成人看護学<7> 第15版 脳・神経(系統看護学講座)/医学書院 ⑥専門分野(2)成人看護学<8> 第15版 腎・泌尿器(系統看護学講座)/医学書院 ⑦専門分野(2)成人看護学<10> 第15版 運動器(系統看護学講座)/医学書院 ⑧系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論 第11版 /医学書院 [8冊指定]				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	生命の危機状態にある対象と家族の回復過程への看護について説明ができる。		HSU(1)(2) ,NS(1)(3)		
②	生命の危機状態にある対象の治療、処置、検査について説明できる。		HSU(2) ,NS(3)		
③	治療(手術を含む)、処置、検査を受ける対象への看護を説明できる。		HSU(2) ,NS(3)		
④	生命の危機状態を脱した対象と家族のセルフケアへの看護が説明できる。		HSU(3) ,NS(1)(2)(3)		
⑤	対象の社会的背景を踏まえ退院後のQOLの維持・向上の看護援助を理解できる。		HSU(1)(2) ,NS(1)(2)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	手術療法と周術期看護の役割	講義	教科書①p2～5 を読み手術療法の特徴と看護の役割についてまとめる。		1
	手術療法と周術期看護の基本 手術療法と生体反応の基本	講義	教科書①p8～19 を読み重要な部分をまとめる。		1
2	手術療法と周術期看護の基本 周術期にある患者・家族の特徴	講義	教科書①p20～43 を読み重要な部分をまとめる。		1
3	術前の患者・家族の看護 患者・家族の看護 手術に向けた準備	講義	教科書①p70～93 を読み重要な部分をまとめる。		1
4	術中の患者家族の看護 環境・役割・麻酔・手術室入室から退室まで 手術室における医療安全 (認定看護師)	講義	教科書①p96～139 を読み重要な部分をまとめる。 事後課題: 認定看護師の講義の学び		1
	術後の患者・家族の援助 情報収集・アセスメント、看護問題、 患者・家族へのケア 機能低下から早期回復と術後合併症対策	講義	教科書①p141～182 を読み重要な部分をまとめる。		1
5	術後の患者・家族の援助 機能低下から早期回復と術後合併症対策 疼痛対策 感染対策 ドレーン管理 創傷治癒 褥瘡対策	講義	教科書①p183～201 を読み重要な部分をまとめる。		1
6	術後回復過程における患者・家族の看護 患者・家族の看護 回復過程における生活の調整	講義 GW・発表	教科書①p204～221 を読み重要な部分をまとめる。 術前/術中/術後の看護の要点をまとめる。		1
7	手術を受ける患者の看護 (基礎疾患のある 内視鏡下手術)	講義	教科書①p448～475、p224～230 を読み重要な部分をまとめる。		1

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人看護学】

8	手術を受ける患者の看護 (脳・神経系、頭部)	講義	教科書①p231～274 を読み重要な部分をまとめる。教科書⑤	1			
9	手術を受ける患者の看護 (呼吸器系)	講義	教科書①p276～287 を読み重要な部分をまとめる。教科書②	1			
10	手術を受ける患者の看護 (循環器系)	講義	教科書①p290～325 を読み重要な部分をまとめる。教科書③	1			
11	手術を受ける患者の看護 (消化器系)	講義	教科書①p328～371 を読み重要な部分をまとめる。教科書④	1			
12	手術を受ける患者の看護 (腎・泌尿器系)	講義	教科書①p374～385 を読み重要な部分をまとめる。教科書⑥	1			
13	手術を受ける患者の看護 (運動器系)	講義	教科書①p418～446 を読み重要な部分をまとめる。教科書⑦	1			
14	手術を受ける患者の看護 (性・生殖系系)	講義	教科書①p388～416 を読み重要な部分をまとめる。	1			
15	手術を受ける患者の看護 (高齢者・小児)	講義 GW・発表	教科書⑧p382～409 を読み重要な部分をまとめる。	1			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	10	0	20	10	100
総合力指標	知識・技術力	60	5	0	10	0	75
	思考・推論・創造する力	0	5	0	5	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	5	5	10
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	筆記試験により学習成果を評価する。				必要に応じて解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	グループワーク(6・15回目)での事前課題を評価する。				授業中に指導する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①	✓	ノートにまとめた事前課題を評価する。				授業中に指導する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①	✓	GW・発表への参加姿勢を評価する。				授業時に助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人看護学】

備 考	
他 担 当 教 員	なし
教 員 の 実 務 経 験	科目責任者は、看護師として 40 年の臨床経験を有する。
実 践 的 授 業 の 内 容	実務経験のある教員の指導のもと、成人期の看護について理解を深める。 教員の経験から成人期の看護の実践事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・試験への教科書持ち込みは不可とする。 ・新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラパスの変更があることも考えられるが、その際は随時、お知らせする。